

交流

2013年2月
vol. 863

目次

CONTENTS

台湾と日本のコーポレートガバナンスへの考察 (葉聰明)	1
日台アライアンスの現場から ～通訳を上手に使いこなすテクニック～ (吉村章)	9
ある台湾日本語世代の牧師の記憶 (佐藤貴仁)	21
【台湾海峡をめぐる動向】 『台北会談』の開催、中国人旅行者が年間200万人を突破 (松本充豊)	30
コラム:日台交流の現場から 屏東縣竹田郷～心をつなぐ図書館～	42
編集後記	44

※本誌に掲載されている記事などの内容や意見は、外部原稿を含め、執筆者個人に属し、公益財団法人交流協会の公式意見を示すものではありません。

※本誌は、利用者の判断・責任においてご利用ください。

万が一、本誌に基づく情報で不利益等の問題が生じた場合、公益財団法人交流協会は一切の責任を負いかねますのでご了承ください。

● ● 交流協会について ● ●

公益財団法人交流協会は外交関係のない日本と台湾との間で、非政府間の実務関係として維持するために、1972年に設立された法人であり、邦人保護や査証発給関連業務を含め、日台間の人的、経済的、文化的な交流維持発展のために積極的に活動しています。

東京本部の他に台北と高雄に事務所を有し、財源も太宗を国が支え、職員の多くも国等からの出向者が勤めています。